

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【公表番号】特表 2008-539252 (P2008-539252A)

【公表日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報 2008-045

【出願番号】特願 2008-509071 (P2008-509071)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/21

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 35/00

C 0 7 D 471/04 1 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの I R M 部分及び少なくとも 2 つの抗原ペプチドを含み、そのうちの少なくとも 1 つの抗原ペプチドが前記 I R M 部分と共有結合する、少なくとも部分的に精製された抗原凝集体を含む、免疫活性化組成物。

【請求項 2】

前記凝集体が実質的に均質なペプチド集団を含む、請求項 1 に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 3】

前記凝集体が少なくとも 2 つの異なるペプチドを含む、請求項 1 に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 4】

少なくとも 2 つの異なる I R M / 抗原複合体を含み、ここで、第 1 の I R M / 抗原複合体は I R M 部分に共有結合する第 1 の抗原ペプチドを含み、第 2 の I R M / 抗原複合体は I R M 部分に共有結合する第 2 の抗原ペプチドを含む、請求項 3 に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの抗原ペプチドがウイルス抗原の抗原部分の少なくとも一部である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 6】

前記ウイルス抗原がH I V 抗原である、請求項 5 に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 7】

前記H I V 抗原がG a g 4 1 の抗原部分の少なくとも一部である、請求項 6 に記載の免疫活性化組成物。

【請求項 8】

抗原ペプチドに共有結合する少なくとも 1 つのI R M 部分を含む部分的に精製されたモノマーI R M / 抗原複合体をさらに含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の免疫活性化組成物。